

怒りを伝えたいときの コミュニケーション

年下編

たとえばこんなとき…



指示したことをきちんとやらない部下に怒りを伝える必要があるとき



深夜まで騒ぐなど、近所迷惑なことが多いお隣の娘さんに怒りを伝え、改善してもらいたいとき

**相手が「感情的なタイプ」か「論理的なタイプ」か、
2つのタイプによって会話の仕方を変えることがポイント!**

感情的なタイプ

ただ怒るのではなく、なぜそうなったのか質問することで反省を促す

反省を促し、同じことをさせないようにするため質問を重ね、「なぜそうなったのか」を明確にしていきましょう。質問することで本人に考えさせ、自ら答えに気づくよう誘導する。

論理的なタイプ

怒るときは今後の改善策をセットにして伝え解決に向けシステム化を図る

問題を個人に委ねるのではなく、解決手段のシステム化を一緒に模索していくことが重要。怒るだけでなく、きちんと「では次にどうしていくか」をセットにして伝える。